

- 1 学年 第1学年
- 2 教材 高等学校 新現代社会
- 3 科目名 現代社会
- 4 単元名 基本的人権の保障

5 単元指導計画

- (1) 平等権1 法の下での平等の考え方はどのようなものか 1時間
- (2) 平等権2 平等な社会は実現しているか（ケーススタディを中心に） 1時間
- (3) 平等権3 条件的平等について考える 1時間（本時）
- (4) 自由権1 精神的自由はなぜ守られなければならないのか 1時間
- (5) 自由権2 身体的自由はなぜ守られなければならないのか 1時間
- (6) 社会権 国家はどこまで国民を守らなければならないのか 1時間
- (7) 新しい人権 現代社会においては、どんな人権が必要なのか

6 評価の観点と評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・自由・権利と責任、平等など人権に対する関心が高まっている。 ・民主政治の基本原則である基本的人権の尊重について関心を高め、主権者として自らの問題として追求しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する実際の裁判例やケーススタディにおいて、どう判断すべきかを主権者として自ら考察し、公正に判断し、表現しようとしている。 ・平等や自由など人権に関して、幸福・正義・公正などを用いて、多面的多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・絵などからその意味すること、背景を読み取ろうとしている。 ・憲法の条文や判例についての情報を様々なメディアを通して収集する。 ・収集した資料を自らの考えをまとめることに活用しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権規定がなぜ憲法に定められているのか、なぜ重要なのか、基本的考え方を身に付けている。 ・基本的人権の具体的内容及び判例を理解し、その知識を身に付けている。 ・民主主義の目標は、基本的人権の尊重であることを認識し、その考え方を身に付けている。

7. 本時の目標

- ① 憲法14条で保障する「法の下での平等」の考え方にそって、身近な事例を使って、自分の重視する「公正」「公平」とは何か、について考えていく。
- ② 条件の平等の考え方を理解する。

8. 本時の展開

時間	学習内容 生徒の学習活動	教師の指導・支援 評価規準 【観点】（評価方法）
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習と学習課題の確認 ・本時の学習が公正・公平についてかんがえることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに行った「幸福・正義・公正」の授業について触れて、興味を喚起する。 ・プリント1を配布する。

<p>展開 35分</p>	<p>1 ケーススタディを読む。 ・どんなことを考えるのか、本時のケーススタディを理解する。</p>	<p>・ケーススタディの内容を理解しやすいように説明する。 ・ケーススタディの内容が理解できたか。 【知識・理解】 (観察)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><ケーススタディ>どうしたらよいか、考えてみよう。 ある学校には、購買があり、毎昼休みに1個100円の特別価格で10個特製サンドイッチを売っている。具は毎日異なり、味も抜群で量も充分である。おなじ量のサンドイッチをコンビニで買うと300円ぐらいする。購買では、販売数を男子5個、女子5個と決めている。 そして、毎日この特製サンドイッチ争奪戦が繰り広げられている。4時間目の授業が終わると購買に生徒が駆け込んで先着順に特製サンドイッチをゲットしている。結果はほぼ毎日3年の運動部の特定の男子、女子がこの特製サンドイッチを手に行っている状況が続いている。いつももうちょっとの3年生の男子や1、2年生から文句が出て、売り方を改善してほしいとの要望が出た。 購買は1階にあり、2階3年、3階2年、4階1年の教室配置である。生徒の男女比は、各学年とも男子6割女子4割である。学校では、授業終わりのチャイムまで教室から出てはいけないうことになっている。</p> </div>
	<p>2 ケーススタディについての議論を読み、それぞれの主張について公平か考える。 ・それぞれの主張を理解する。 ・ワーク1を利用し、5つの視点でそれぞれの提案が公平かどうか判断する。</p>	<p>・プリント2（討論の様子）を配布。 ・それぞれの立場をはっきりと説明する。 ・理由を聞きながら、何を重視しての判断か、考えさせる。 ・自分なりに公平、平等かどうか判断することができたか。 【思考・判断・表現】 (ワークシート、発問)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ワーク1 それぞれの提案を考えて、不公平、不平等かどうか、考える ① 購買までの距離の違いで買えるかどうか決まるのは不公平。 ② 男女の枠は不公平。 ③ 高い値をつけた人から買えるのは不公平。 ④ 傷がいがある者を優遇するのは不公平。 ⑤ 成績のよい者を優遇するのは不公平。</p> </div>
	<p>3 条件的平等について考える ・それぞれの提案、意見において、何が平等で、何が不平等なのか、考える。</p>	<p>・条件的平等の考え方を示し、生徒になげかけながら、それぞれの提案について考える。 ・条件的平等と何か、を理解し、自分は何を重視するのか、考えられたか。 【知識・理解】 【思考・判断・表現】 (ワークシート、発問)</p>

<p>まとめ 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・解決策をカルタ（型）を利用して、まとめる。3段階思考法（フィンランド・メソッド 超「読解力」田中博之）を参照にして作成したカルタでまとめ、ワークシートに記入する。 （年間をとおして、授業の最後に、3段階思考法を繰り返し行い、訓練していく。） 自分なりの解決策を示し、感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート「私の案は、【1】とである。まず、【2】である。次に【3】である。最後に（従って、このように）【4】と考える。」を利用し、【1】には自分考えを、【2】【3】にはその根拠を示し、【4】でまとめる。 ・自分が何を重視するのか、を考えて書くように指示する。 【思考・判断・表現】 (ワークシート)
--------------------	--	--

現代社会意見ワークシート

年 組 番

名前 ()

私の案は、

1

である。

まず、(一つめの根拠は)

2

である。

次に、(二つめの根拠は)

3

である。

最後に(従って、このように)

4

と考える。

ケーススタディ 討論会意見一覧

さんねんせいだんし
3年生男子A (陸上部)

「今のままでいいよ。授業が終わる時間も共通だし、問題ないよ。速い者順はにたくさんあるよ。1、2年は3年になれば2階に行けるんだし、自分たちも1、2年の時はがまんしてたよ。だれも不公平なことはしていないよ。」

さんねんせいだんし
3年生男子B (野球部)

「おれもAの言うことには賛成だけど、ひとつだけ不満があるな。男子5、女子5の数はおかしいんじゃないの。なんで男女の枠を設ける必要があるの。もしつけるにしてもなんで同数なの。うちの学校は、男子の方が多いのに。」

いちねんせいだんし
1年生男子C (吹奏楽部)

「1年生は4階なので、絶対に特製サンドイッチを買えません。教室のある場所で買うことが無理なのは不公平ですよ。スタートラインが違うじゃないですか。1、2年生はがまんしろっていうのはおかしいと思います。」

さんねんせいだんし
3年生男子D (帰宅部)

「人気があるんだから販売数を増やせばいいじゃん。買いたい人がいっぱいいるんだから少し値段上がったっていいよ。数が増えれば1、2年生でも買えるチャンスができるんじゃないの。」

にねんせいじょし
2年生女子E (ダンス部)

「なるほど。でももし数ふやせないなら、オークションってどうですか。毎日高い値段をつけた人が手に入れるってするのであれば、お金を多く払った人が手にできるから公平じゃないですか。」

いちねんせいじょし
1年生女子F (ボランティア部)

「今のシステムでは、障がいやけがで早く移動できない人は絶対に買えないですよ。たとえば毎日2個はそんな人用にしてほしいと思います。」

にねんせいだんし
2年生男子G (鉄道研究部)

「当日の朝、抽選じゃだめなの。そうすればだれに対しても公平で問題ないんじゃないの。」

さんねんせいじょし
3年生女子H (バスケットボール部)

「学校は勉強するところだから、成績上位者は優先で買うことができる権利を得ることができる制度もいれたらどうですか。」

現代社会プリント

2 学期 NO.5 第2部

現代社会のしくみと私たちの生き方 第2章 現代の民主政治と民主社会の倫
第1節 民主社会の原理と日本国憲法 4. 平等権と差別 (教p62~63) 3

テーマ：条件の平等について考えよう！

1. ケーススタディ (平等について、身近な事例で考えてみよう！)

【事例】

ある学校には、購買があり、毎昼休みに1個100円の特別価格で10個特製サンドイッチを売っています。具は毎日異なり、味も抜群で量も充分です。おなじ量のサンドイッチをコンビニで買うと300円ぐらいしてしまいます。毎日特製サンドイッチは大人気です。購買では、販売数を男子5個、女子5個と決めています。

そして、毎日この特製サンドイッチ争奪戦が繰り広げられます。4時間目の授業が終わると購買に生徒が駆け込んで先着順に特製サンドイッチをゲットしています。結果はほぼ毎日3年の運動部の特定の男子、女子がこの特製サンドイッチを手に入れている状況が続いています。そこで、いつももうちょっとの3年生の男子や1、2年生から文句が出て、売り方を改善してほしいとの要望が出ました。

購買は1階にあり、2階3年、3階2年、4階1年の教室配置です。生徒の男女比は、各学年とも男子6割女子4割です。学校では、授業終わりのチャイムまで教室から出てはいけないことになっています。

かんがえて
【考えてみよう1】質問にこたえてみよう。不公平ふこうへいと思う場合は×をつけよう。

- ① 教室きょうしつから購買こうばいの距離きょりの違いちがいで早い者はやいもの順じゆんで買い物かいものができるの不公平ふこうへいだと思おもう。
()
- ② 男女だんじょの購入こうにゆう数を同数どうすうと決めるきめるのは、男女比だんじょひから考かんがえて不公平ふこうへいだと思おもう。
()
- ③ 高たかいお金かねを払はらった者ものがサンドイッチさんどいっちを購こう入にゆうできるのは不公平ふこうへいだと思おもう。
()
- ④ けがや障せいとがいのある生徒ゆうせんてきにに優先こうにゆう的に購こう入にゆう権けんを与あたえるのは不公平ふこうへいだと思おもう。
()
- ⑤ 成績せいせき上位じょうい者ものに優先ゆうせんてきに的に購こう入にゆう権けんを与あたえるのが不公平ふこうへいだと思おもう。
()

かんがえて
【考えてみよう2】

*この問題もんだいをどのように解決かいけつしますか。討論会とうろんかいの意見いけんを讀よんで、あなたあなたの考かんがえる解決策かいけつさくはどのようなものか。考かんがえてみてください。

じぶん <自分の意見>
<理由>

*まとめ

--

*感想

--